

いわふね

第 235 号

令和6年7月5日 発行
ときわ会岩船村上支部
広報委員会
題字 宮川 佳代子(前神林中学校長)



降り注ぐ太陽の光を浴びて
(さんぼく小学校)



「つどい つながり 共に学び合い、高め合う岩船・村上支部」を目指して

ときわ会岩船・村上支部支部長
村上小学校長 松田 洋平(62年度)

4月、昨年度に引き続き対面による支部総会が行われ、支部長に承認いただきました。鈴木副支部長、専門委員会、特設委員会の各委員長とともに、会員の皆様からお力添えをいただきながら、伝統ある岩船・村上支部の活動の充実と発展に精一杯務める所存です。よろしくお祈いします。

ときわ会代議員会で、山田浩之会長は、「人材を活かし、主体的に学び合い鍛え合う研修、人と人を確かにつなぐ組織運営」を今年度の基本方針とし、着実な実践を進めていこうと決意を述べられました。また、「主体的に学び続ける会員一人一人の資質・能力を高めるため、ときわ会の多様な人材を活用し、ニーズに応じた魅力ある研修を推進する」をはじめ3つの活動の重点を設定することが決議されました。

これらの基本方針、活動の重点を踏まえ、支部では「研修の充実」「人材の活用と組織の活性化」を重点に、今年度の活動を進めます。

研修は、研修団体としてのときわ会の根幹を成すものです。研修委員会を中心に、夏季研修会、きらなみ会や山城の会等の年層別研修などの充実を図り、会員のニーズに応じた研修、会員の満足度の高い研修を実施します。

各委員会、各年度等のそれぞれの活動で、活動の目的や会員のニーズに応じて、オンライン、ハイブリッド、対面など実施方法を工夫するとともに、支部内外の多様な人材を活用するなど内容の工夫も併せて行いながら、人と人とのつながりを深め、組織の活性化を図りたいと考えます。

今年度の支部のスローガンを「つどい つながり 共に学び合い、高め合う岩船・村上支部」とし、あらゆる研修や交流、親睦の機会を通じて、会員同士のつながりや絆を強め、共に学びを進める中で、一人一人の資質・能力を高めていきたいと考えます。支部活動への主体的な参加・参画をお願いします。